

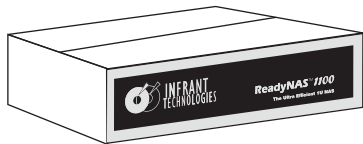
ReadyNAS™ 1100

NETGEAR®
Connect with Innovation™

The Ultra Efficient 1U NAS

はじめにお読みください

1 パッケージの内容を確認してください



同梱内容:

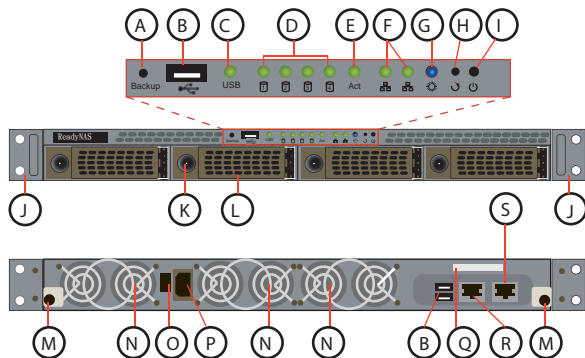
- (1) ReadyNAS 1100
- (4) ハード・ディスク・トレイ
- (1) はじめにお読みください(本紙)
- (1) 保証書
- (1) 電源ケーブル
- (1) イーサネットケーブル
- (1) ReadyNAS インストール CD
- (16) ハードディスク固定用ネジ*



ディスク無しシステムをご購入されたお客様は、下記のディスク・インストール・ガイドを電源投入前にお読みください。

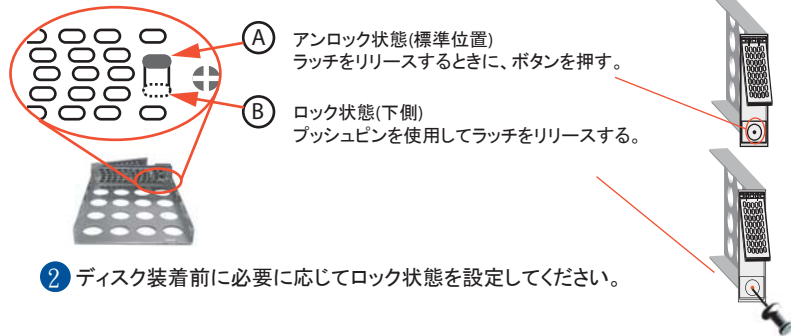
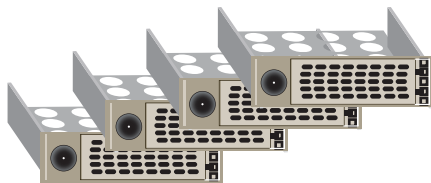
* ディスク無しシステムのみ

2 ReadyNAS 1100各部のなまえ



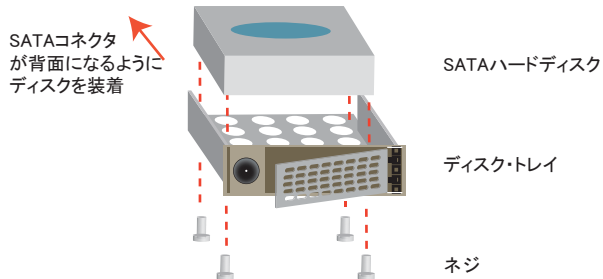
- A - 設定可能なバックアップ・ボタン
- B - USB ポート
- C - USB (1) LED
- D - ディスク LED (ディスクがオンラインのとき点灯します)
- E - ディスク・アクティブ LED (ディスクにアクセスしたとき点滅します)
- F - イーサネット(1) および(2) アクティブLED
- G - 電源 LED
- H - システム・リセット・ボタン
- I - 電源ボタン。ディスクLEDが点滅を始めるまで押し続けるとシャットダウンできます。
- J - ラックマウント用金具
- K - ディスク・トレイ リリース・ボタン
- L - ディスク・トレイ(ラッチ付)
- M - システムモジュール・引き出し用つまみ
- N - 冷却用ファン
- O - 電源スイッチ
- P - 電源コネクタ (100~240VAC, 50/60Hz)
- Q - ラベル (シリアル番号、MACアドレス)
- R - イーサネット・ポート (2)
- S - イーサネット・ポート (1)

3 ハードディスク・インストレーション (ディスク無しシステムをご購入の場合のみ)



- ① ディスク・トレイをとりはずす:
① ボタンを押してラッチをリリース ② トレイを引き出す

- ② ディスク装着前に必要に応じてロック状態を設定してください。

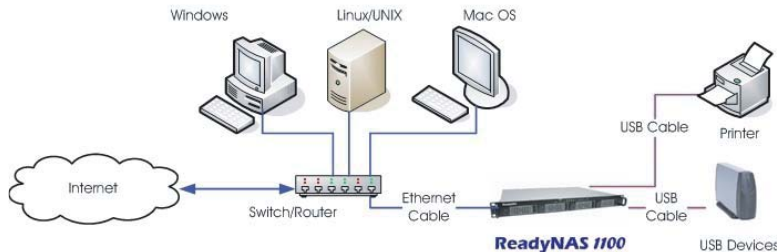


- ③ ハードディスクをトレイに装着



- ④ ラッチのレバーが開いた状態で、トレイを挿入し、最後にレバーを閉じます。

4 ReadyNAS 1100 をネットワークに接続



ReadyNASをネットワークに接続



ReadyNASをPCに直結
(クロスまたはストレートケーブル)

5 RAIDarをPCやMACにインストールする

1 インストールCDには以下のものが含まれています:

- RAIDarユーティリティ (Windows、Mac、Linux)
- ReadyNASセットアップガイド
- ReadyNASユーザ・ガイド
- エンドユーザ・ライセンス・アグリーメント
- EMC Retrospect Backup Software *

* EMC Retrospect Backup Software パッケージには下記のものが含まれています:

- EMC Retrospect Desktop for Macintosh (5クライアント・ライセンス)
- EMC Retrospect Professional for Windows (5クライアント・ライセンス)

2 RAIDarユーティリティをWindowsまたはMac、Linuxにインストールする

3 RAIDarを起動する(詳細はCDに含まれているセットアップガイドを参照してください)

4 ReadyNASの電源を投入する



6 ハードディスクの初期化(ディスク無しシステムをご購入の場合のみ)

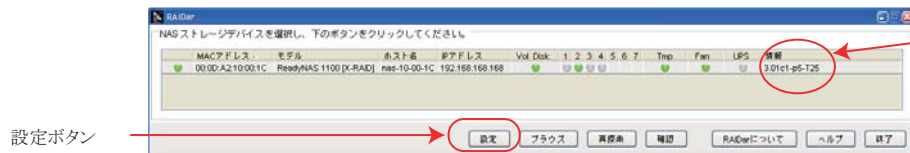
- ReadyNASディスクレスシステムをご購入された場合、ハードディスクを装着し、必要に応じてRAIDの設定(詳細は下記のセクション A を参照してください)の後、ReadyNASセットアップ・ウィザードを開始できるようになるまで時間がかかります。ディスクの容量によっては、2時間程度かかる事があります。
- その後、RAIDの同期処理が自動的にバックグラウンドで行われます。同期処理は2~10時間かかりますが、その間ReadyNASへのアクセスは可能です(但し、性能は低下します)。同期処理の終了後、システムは冗長構成で動作し、ディスクの故障からデータを保護します。RAIDarおよび筐体のLEDに一連の処理の進捗状況を表示します。

所要時間/状態	① ② ③ ④ Act	説明	RAIDar情報欄
2分間	○ ○ ○ ○	ブート中	
10分間	○ ○ ○ ○	RAIDarからのRAID設定(オプション)	設定ボタンをクリック
2時間(最大)	○ ○ ○ ○ 	ボリューム作成中 (この間、ReadyNASにアクセスできません)	インストール中 ボリュームを作成中 起動中
10時間(最大)		RAIDの同期処理中(この間、ReadyNASにアクセスできます)	「バージョンを表示」
	○	通常状態(ReadyNASは冗長モードで動作中)	「バージョンを表示」
エラー*	○	ディスクが検出できませんでした (全ディスクLEDの点灯とディスク2のLEDの点灯を繰り返す)	ディスクがありません
エラー*	○	不良ディスクを検出しました (該当ディスクのLEDが点滅)	「バージョンを表示」
エラー*	○	ルートイメージが壊れています (全ディスクLEDの点灯とディスク1と2のLEDの点灯を繰り返す)	ルートファイルシステムが壊れています
凡例:	○ LED消灯 LED点灯	LEDがゆっくり点滅 LEDが早めに点滅	バターンの繰り返し

*初期化注にこれらのエラーが発生した場合、初期化は中断します。

7 ReadyNAS 1100 の設定

- 1 ReadyNASの電源投入後、RAIDarが自動的にネットワーク上のReadyNASを見つけ、表示します。「情報」欄にバージョンが表示され、設定ボタンが有効になると、セットアップ・ウィザードを開始できます。ユーザ名「admin」とパスワード「netgear1」を入力しウィザードを開始します。



通常状態では、「情報」欄にバージョンが表示されます。(起動中やインストール中にはそれらの状態が表示されます。)

- 2 セットアップ・ウィザードの終了後、ReadyNASを使用できます。(詳細は、セットアップガイドまたはユーザーガイドを参照してください)


A RAIDの設定 (オプション)

- 1 ReadyNAS 1100 は、以下のいずれかの構成で出荷されています:
 - ディスク無しシステム
 - ディスクインストール済みでRAID-5で初期化済み(Flex-RAID)

下記の手順により、初期化時にFlex-RAIDとX-RAIDの切り替えができます。Flex-RAIDは業界標準のRAID-0/1/5を使用でき、より柔軟なボリューム管理ができます。X-RAIDでは一つのデータ・ボリューム詩化しようできませんが、自動拡張が可能です。初期化処理を伴いますので、システム上の全てのデータと設定が失われます。

- 2 システムの初期化の準備

PC/Mac上でRAIDarを起動し、ディスクを装着したReadyNASをネットワークに接続します。

-  システムの初期化処理(向上出荷時の設定に戻す)を行うとReadyNAS上の全てのデータと設定が失われます。





ディスク台数	RAID 0	RAID 1	RAID 5	X-RAID
1				
2				
3				
4				

凡例:

- ディスクの故障からのデータ保護
- ↓ X-RAIDによるボリュームの自動拡張
- 🕒 ボリュームサイズ
- ✓ 1100のデフォルト設定(ディスク4台搭載時)


RAIDの設定(続き)

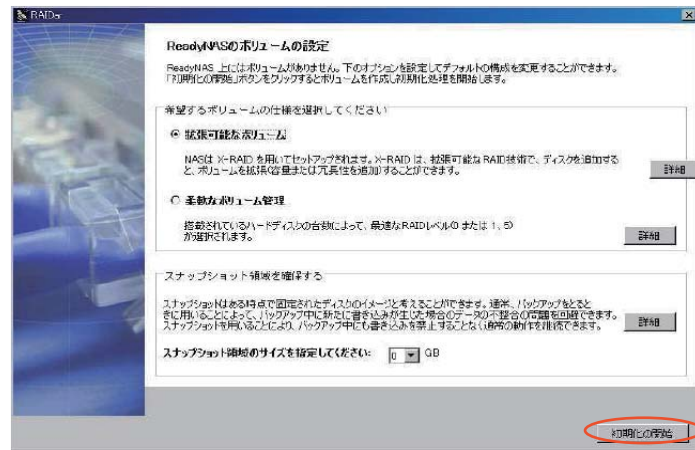
3 システム初期化の手順

① ReadyNASの電源がオフなことを確認	OFF 
② システムリセットスイッチを爪楊枝などで押した状態で、電源を投入	
③ そのままシステムリセットスイッチを押し続ける	ON 
④ 全ディスクLEDが同時に5秒後と30秒後におよそ2秒間点灯します	
⑤ LEDの2回目の点灯(およそ30秒後)後、すみやかにシステムリセットスイッチをリリースする	

4 RAIDarから「RAID設定」画面を起動する

- ① システム初期化の開始後、RAIDarの「情報」欄に「設定ボタンをクリック」と表示されます。(およそ10分間)
- ② 「設定」ボタンをクリックすると「ReadyNASのボリュームの設定」画面が開きます。
- ③ X-RAIDかFlex-RAIDを選択して、必要に応じてスナップ領域を確保して、「初期化の開始」ボタンをクリックしてください。

-  もし、10分間のうちに、RAIDarの設定ボタンをクリックしない場合は、自動的に、Flex-RAID(ディスク台数によってRAID-0/1/5を自動選択)でボリュームを構成し、スナップショット領域として5GBを予約します。

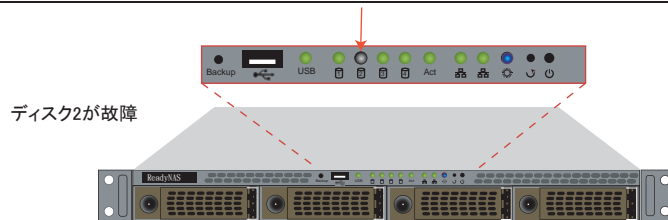
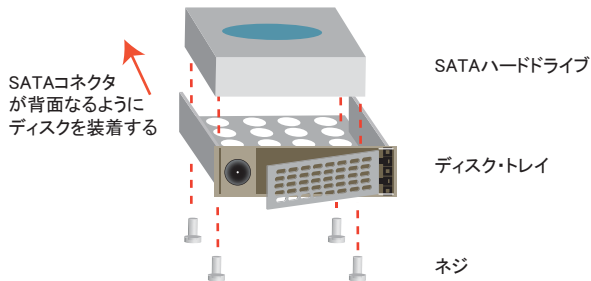


B 不良ディスクの交換

① ディスク不良が発生すると、該当するディスクLEDがゆっくり点滅します。

② 故障したディスクのトレイを引き出します。ReadyNAS 1100はホットスワップをサポートしているので、電源をオフにする必要はありません。

- ① ボタンを押してラッチをリリースする
- ② トレイをひき出す
- ③ 不良ディスクを新品ディスクに置き換えます
- ④ ディスク装着後、トレイをReadyNAS 1100に挿入します



ディスクトレイを元に戻す

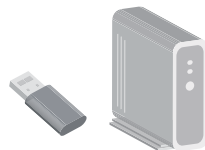
③ RAIDの再同期処理が自動的に開始されます。完了後にメールにて通知されます。

C バックアップボタンと正面のUSBポート

- 1 バックアップボタンは、正面のUSBポートに連動しています



バックアップボタン USBポート



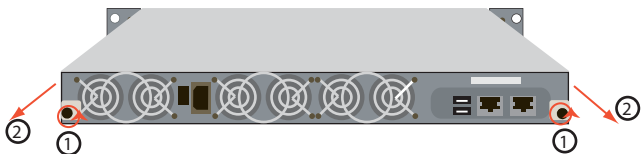
- 2 初期設定では、バックアップボタンを押すと[backup]共有のデータを、正面のUSBポートに接続されたUSBストレージにコピーします。FrontViewのバックアップメニューからバックアップボタンの動作を設定できます。



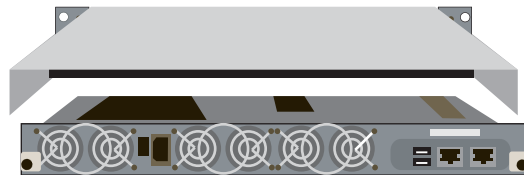
バックアップボタン USBポート

USBストレージ

D システムモジュールの取り外し



- ① 電源がオフなことを確認しネジをはずす ② システムモジュールを引き出す



システムモジュール(電源とマザーボード)が引き出されます

NETGEAR[®]

NETGEAR, Inc.
4500 Great America Parkway
Santa Clara, CA 95054 USA

©2007 NETGEAR, Inc.

NETGEAR、NETGEAR ロゴ、Gear Guy、Connect with Innovation、Smart Wizard は、米国およびその他の国における NETGEAR, Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft および Windows は、米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標です。
その他のブランドおよび製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。
記載内容は、予告なしに変更されることがあります。

禁無断転写

2007年10月



2 0 1 - 1 1 2 1 7 - 0 2